

私たちの活動や意見を仲間
で共有します。
会費は県と日本平和委員会
の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2021年12月15日 第358号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

9条改憲は戦争への道、平和の会 出番の情勢

総選挙後あらたに吹き出た改憲策動、許さぬたたかいを 比例も議席も前進させた“市民と野党の共闘”飛躍の年を迎えよう

新型コロナ感染爆発は、あろうことが医療から見放され自宅で命を落とすという先進国(?)の名に恥じるような悲劇をもたらしました。安倍・菅・岸田と受け継がれてきた、医療破壊の自公政治の犠牲(=人災)ともいえます。

私たちが、方向転換の絶好のチャンスとした総選挙で、政権交代はならず改憲勢力が多数議席を占めることとなりました。マスコミあげての“野党共闘失敗論”が振りまかれています。正面から事実を見ない権力追従の姿勢といえます。市民と野党の共闘は比例も議席も前進させたことに私たちは新たな確信と展望をもって新年を迎えたい。

2022年は参院選をはじめ重要

な選挙が続く年です。コロナで少し足を止められた感のある市民へのアピールをギヤアアップしましょう。

私たちの前には、平和のみならず、気候変動やジェンダーなど新しい地球的課題も突きつけられています。若い世代への広がり意識して、決意みなぎる新年を迎えましょう。



日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める街頭アピールで奮闘した2021年



繰り返し行われた土浦憲法共同センターの街頭アピール行動(ケーズデンキ真鍋店前)写真は11月20日

欠陥機オスプレイ訓練やめろ!(12/13)

日米共同訓練 反対抗議集会に60人

百里連協(百里基地反対連絡協議会)主催

12月13日、百里基地前でこの日から日米合同の空中訓練が行われることに反対する抗議行動が行われ、約60人が参加しました。

「オスプレイ訓練やめろ」の抗議行動は7月と8月にも開催されてきました。8月の行動に外部の妨害者があったことを理由に百里基地側は正門前で「抗議行動」を認めないと主張していました。この不当な措置に対し「市民が要請行動などを行うのは憲法に保障された国民の権利だ」として抗議をしていました。「共同訓練絶対反対」の力強いコールが響きました。



ヒバクシャはあきらめなかったんだ

「朝日新聞」(12/4付)に

全面意見広告掲載されました

今年のテーマは「核兵器禁止条約に日本も批准を！」です。「未来の子どもたちのために」「今を生きる私たちのために」私たちはあきらめません。～ノーモアヒバクシャ、ノーモアウオー～のために。だから日本政府に「核兵器禁止条約」の批准を求めます!

このシンプルで斬新なデザインが好評です。

ご賛同いただいたみなさんありがとうございます。



土浦革新懇が講演会を計画

**日本人とカツオ、その深いつながりから
見える世界を考える**

現代の企業資本とカツオ危機

40年以上、カツオの回遊生態や食文化史に関わってきた研究者の目から、今日の日本と世界を考える。

記念講演 **二平章** (にひらあきら) さん

- ・茨城大学人文社会科学部/客員研究員
- ・JCFU全国沿岸漁民連絡協議会/事務局
- ・FFPJ家族農林漁業プラットフォーム/副代表



と き：2022年1月22日 (土)
午後1時半より

ところ：ワークヒル土浦

主催：土浦革新懇 (平和・民主・革新をめざす土浦懇談会)

新シリーズに寄稿を「父のこと」「母のこと」

皆様のご両親にまつわるエピソードなどお聞かせください。前々号から始まった新シリーズの寄稿が途絶えています。戦争と平和にこだわらず、楽しい思い出、破天荒な話も大歓迎です。

※原稿は900字をめぐり、最大でも1,000字程度をお願いします。



12月の街頭アピール行動

ふるってご参加を

「9条守れ 憲法生かせ」の新横断幕登場です。

12月19日(日) 午前10時～(30分行動)

ケースデンキ真鍋店前 主催：土浦 憲法共同センター

日本平和委員会のホームページから

次のYouTube動画がみられますよ

- 首都圏のオスプレイ拠点化の現状とその意味
- 平和でつながる青年の意識と行動
- 土地利用規制法の危険性と止め方
- 総選挙結果をどう見るか、平和運動の視点から

来年1月23日 沖縄 名護市長選挙

オール沖縄 予定候補

岸本新市政で新基地建設ストップを

新基地建設反対の声を無視して埋め立て工事を強行する自公政権が丸抱えで支援する現職知事から、オール沖縄で市政奪還をめざす岸本洋平さんに全国からの支援が求められています。

(具体的支援要請は別途)



先の総選挙に際して、岸田首相が土浦で自民党候補者国友あやの候補の応援に入ったとき、茨城県トラック協会が参加者に対して5,000円の手当を支給したことが報道されたが、候補者からも選挙事務所からも係わっていないということやむやになったように思えた。そして今度は、広島で公明党の斉藤鉄夫候補の個人演説会参加者に5,000円支払われたということが問題になっている。この場合も県トラック協会から交通費名目で支払われたという。今までもトラック協会では交通費を支給するのは慣例になっていたという。広島の場合は自公の選挙協力で斉藤氏が統一候補になっているから自民党後援組織が動員した参加者に手当を配ったと思われる。

なぜトラック協会が自民党後援組織なのかということが大きな疑問である。トラック

協会が自民党の支部に対する献金もしているという。茨城でも広島でもトラック協会が申し合わせたように5,000円の手当を出しているということは、ここだけでなく全国的な組織的支援が行われているのではないかという疑問がある。トラック協会がなぜ組織ぐるみで自民党支援なのか。当然のことながら見返りがあると思われるが、それは何だろうか。トラック業者が共通して利用する施設といえは高速道路や有料橋、あるいは大量に使う燃料

**氷山の一角が現れたか
うやむやにできない、5,000円問題**

井上仁志 (土浦平和の会理事)

の税金軽減などが考えられるが、とにかく組織的支援の裏には見返りがあるというのが業界の常識だろう。金がものをいう選挙をやめさせるには徹底した国会審議が必要であるが、桜を見る会の疑惑もうやむやの現状では市民的運動を広げていくしかないのかもしれない。

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

